

「アビコメプロジェクト」経過報告



2008年12月現在、TDA西ビジネス研究部会は「新しいビジネスモデルの個人メーカーになろう」を目標に、TDAの有志会員がデザインビジネスについての必要情報を共有し研究することにより、また視野を広げテストパターンを体験実験するとにより、協会のモチベーションを向上させることを目的に計画通りプロジェクトを進行しております。

◎アイテムをバックに定め、4月に上記趣旨によるプロジェクト参加メンバーを募る。

プロジェクト参加メンバー

寺井、鈴木、橘、宮武、山口、野々口、將積、奈良平、尾原、佐々木、矢澤、近藤、仁井、濱田、中矢、倉島 [順不同]

(プロジェクト参加の為に新しく会員になられた方が有り)



◎「第1回オリエンテーション」

5月24日大阪化繊会館にて15名参加。

近藤仁史氏によるプロジェクトの趣旨・進行説明の後、参加者の意見交換が行われました。

個人で商品を発注すると多額の資金が必要で商品を企画生産する過程を経験するのは難しい。一つの仕様パターンでバックスタイルを決定し、テクスチャーや柄の部分に各々の個性を出し、ミニマム数量に見合う様皆で発注すればローコストで色々な体験が出来る。

参加者個々の立場からの意見

- 近い将来会社にて企画商品のインターネット販売をするので色々勉強したい。
- ラオスの一村一品運動で織物生産ベースでの手助けを民間学校でしているが、素材のハウツーを提供できてもそれを商品化できる知恵ももらいたい。
- 産地生産者は作り上手売りベタなので企画提案型事業を考えている。今までは自分達の布地の行く末を知らなかったので見据えたハウツーを勉強したい、等。